

～「ここすき」学びの記録～ 子どもの「遊び」は「学び」！

*Yさんは、「ここすき！」に来ると、まず大型積木のコースを渡り始めます。
「ちょっと高いところをバランスを取りながら歩く」という**難しい課題に毎回挑戦**するのです。



平らな場所を「ただ歩く」のではなく、「ちょっと高いところをバランスを取りながら歩く」。
この「**ちょっと難しいことへの挑戦**」が、子どもの「遊び」です。だから、「遊び＝学び」なのです。

この「ちょっと難しいことへの挑戦」を支えているのは、そばで**見守っているお母さまのまなざし**です。
「もし転んでも、お母さんが受け止めてくれる」。この「**安心感**」があるからこそ、子どもは**難しいことにも挑戦**できるのです。

一方で、Yさんのような2歳前後の時期の子どもは「イヤイヤ期」と言われますが、Yさんの行動を見ていると、この時期の子どもが「イヤイヤ」を言うのは、**自分が難しいことに挑戦して成長しようとしている時に、大人から止められるときではないでしょうか**。それは子どもにとっては「**成長するな**」と言われているのと同じですから、**反抗する**わけです。

では、「イヤイヤ」が出ないようにするにはどうすればいいでしょうか。
高いところを歩くYさんを信頼して見守るお母さまのように、**子どもの挑戦をあたたかく見守ること**。
それさえできれば、子どもは**みずから難しいことに挑戦し、自分で自分を育てていける**のです。



Yさんには「**難しいことに挑戦するたくましい心**」があるだけでなく、
友だちの様子をよく観察してかかわろうとする「**やさしい心**」もあります。

Yさんの写真を見返してみると、友だちの様子をよく見ている姿がうかがえます。
いつもお母さまから、あたたかく見守られているYさんだからこそ、**お友だちのこともあたたかく見守ることができる**のですね。